



尾久八幡

令和6年度1月号

令和7年1月8日発行

荒川区立尾久八幡中学校

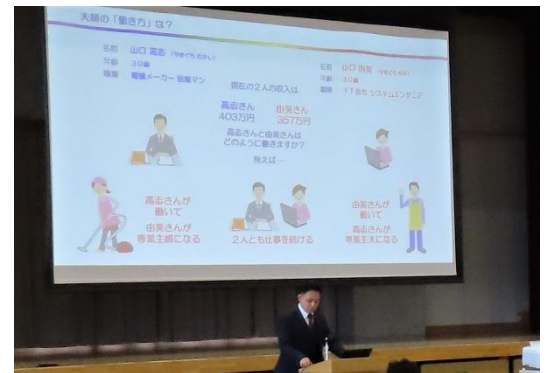
校長 稲葉 裕之

計画性をもって生きることや、夢に向かって努力することの大切さを実感しました。

2年 “ライフプランニング講座” 12月16日(月)

本校では、外部人材の活用を積極的に行うことで、学習活動の充実を図っています。今回は、ソニー生命保険株式会社にご協力いただき、2年生のキャリア教育の一貫として、“ライフプランニング講座”を実施しました。

このプログラムは、「ライフプランニングを通じ、これから先の人生における自分の夢やありたい姿を描くことで、人生を計画的に生きることの大切さや、夢に向かって努力することの大切さを感じてもらう」ことを目的とし、文部科学省主催の青少年の体験活動推進企業表彰で「審査委員会奨励賞」を、経済産業省主催キャリア教育アワードで「最優秀賞(経済産業大臣賞)」を受賞しています。当日は、34名のライフプランナーの方にお出いただき、各班に分かれて以下の内容でご指導いただきました。



1時間目:ライフプランの作成

班に分かれて、ライフプランナーの方にサポートしてもらいながら、仮想の家族のイベントプランニングに取り組みます。「子どもの進学プラン」「住宅の購入」「毎月の生活費」「家族の夢」等、ライフイベントをひとつずつ整理し、将来実現したい計画や夢を描いていきます。

2時間目:ライフプランの検証

各班で作成したプランについて、必要となる資金をグラフで可視化、シミュレーションを行います。検証結果から、ライフプランナーの方からアドバイスをいただき、描いた夢や目標を達成するために何が必要であるかを、現実感をもって理解します。



生徒たちは、仮想とはいえ、家族のイベントプランニングを実際に行うので、真剣に取り組んでいました。さらに、その検証をしていただいたことで、より実感をもって考える機会になりました。ソニー生命保険株式会社のライフプランナーの皆さま、本当にありがとうございました。

学校代表として、他に引けを取らない発表をしてくれました。

全国中学ビブリオバトル東京大会 参戦 12月1日(日)

本校では、本校では、『授業活用や読書啓発活動により、学校図書館活用を推進することで、学習意欲の向上を図る』ことを学校経営方針の5つの柱の一つに掲げ、本に触れる機会の充実を図っています。12月は校内「読書マラソン」を開催、各教職員からの生徒向け書籍紹介「八幡中おすすめ本」も掲示しました。そうしたなか、11月の「校内ビブリオバトル」でチャンプ本に選ばれた「ショットガン・ナウル」を紹介した渡辺日奈さんが、読売新聞社主催の「全国中学ビブリオバトル東京大会」に、本校の代表として参戦してきました。



12月1日(日)、九段下にある「ベルサール神保町」を会場に、東京近郊の中学校の代表20名によるビブリオバトルが行われました。はじめに3～4名に分かれて予選を行ない、各組で勝ち上がった6名により決勝戦を行ってチャンプ本を決定します。そこでの上位2名は京都で行われる第8回全国中学ビブリオバトル決勝大会の出場権(シード権)を手に入れます。

予選①グループ

発表順	発表者	著書名	著者	出版社
1	渡辺日奈	ショットガン・ナウル	三月みどり	KADOKAWA
2	千葉県から	一九八四	ジョージ・オーウェル	星海社
3	埼玉県から	夏への扉	ロバート・A・ハインライン	早川書房
4	神奈川県から	ふしぎ駄菓子屋 銭天堂	廣嶋玲子	偕成社

渡辺さんは、予選①グループで抽選によりトップバッターで発表、結果は惜しくも予選敗退となりましたが、他のバトラーに引けを取らないすばらしい発表内容でした。その後、決勝戦にオーディエンスとして参加、同じ中学生の発表を楽しく観戦しました。そのプレゼンテーションの仕方から様々なヒントを得ることができ、有意義な大会参加となりました。



「校内ビブリオバトル」の再開により、読書や発表活動へ興味や関心を持つ機会となり、今回のような大会への参加にもつながりました。これからも、校内に様々な活動のチャンスがあり、そこから自分の良さを発見したりそれを発揮したり、文化的な楽しみを味わうことができる八幡中でありたいと思います。

実際の職場だからできる貴重な経験をさせていただきました。

6組3年生 職場実習 11月25日(月)～11月29日(金)

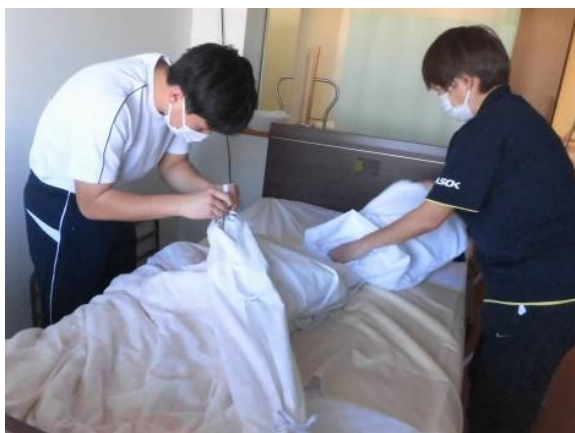
11月25日(月)から5日間、6組3年生は、職場実習を行いました。

実習に先立ち、実習先調べや、実習での目標決め、挨拶等マナーの練習など、事前準備を行い、当日に臨みました。実際の実習では、事業所の方々にご指導いただき、だんだんと業務に慣れていくことができ、困難なこともありましたが、実際の職場だからできる貴重な経験を積むことができました。



実習にあたっては、次の事業所の方々にご協力をいただきました。ありがとうございました。

- ・カフェ 白と青と
- ・レストラン山惣
- ・モスバーガー 荒川遊園前店
- ・ALSOK 老人ホーム すこや家
- ・JR田端駅
- ・尾久図書館



6組では、3年間を通じて次のような力を身に付けることを目標に掲げ、今回も、こうした視点をもって実習に取り組みました。

【他者と関わりながら、社会生活を送る力】

相手に伝わるあいさつ・返事ができる、
感謝の気持ちを伝えることができる、
社会に認められる形での意思表示ができる

【自分の長所や特長を理解し、勤務の場で発揮する力】

目標達成に向けて継続した努力することができる、
周囲と協力して仕事に取り組むことができる

【困難を乗り越え、自分の役割を遂行する力】

困ったときに自分から助けを求めることができる、
担当した仕事を最後まで責任をもつことができる

【自分の将来を設計していく力】

知識や経験等をもとに自分の意思で将来像を描き続けることができる



これらは、社会に生きていくうえで、大切な事柄です。ぜひ、参考にしてほしいと思います。

JRCの3つの実践目標の一つ「奉仕」に取り組みました。

“JRC清掃ボランティア”（地域清掃） 12月9日（月）



尾久八幡中学校は青少年赤十字＝JRC加盟登録校です。2学期もあとひと月あまりとなった12月9日（月）、JRC 美化委員会が中心となって、“JRC清掃ボランティア”（地域清掃）を行いました。学校を出発、宮前公園→宮ノ前駅→小台駅を巡りながら、ゴミや落ち葉を拾いました。途中、地域の方から応援の言葉をかけていただき、生徒たちも意欲的に地域清掃に取り組んでいました。

JRCには3つの実践目標があります。それは、「健康・安全」「奉仕」「国際理解・親善」です。人間は生きるために、健康であること、平和であること、人格と尊厳が尊重されることが必要であり、3つの実践目標にはこれらが盛り込まれています。特に「奉仕」は、義務や強制でなく、社会の一員としての自覚に根ざした自発的な行動の大切さを示しています。この清掃ボランティア＝地域清掃は、本校では以前は行っていたのですが、コロナ禍以降、実施を見合わせていました。



今回、JRC 美化委員会が企画し、ボランティア生徒も募ってくれたことで、日頃から様々な形で支援・協力いただいている、私たちの身近な社会＝地域に対して、自分たちができることで貢献することができました。こうした「奉仕」の意味に気づき、考え、実行することで、尾久八幡中学校の“JRC活動”というバトンを意味あるものとして繋いでいってほしいと思います。

熊野前駅前で、募金への協力を呼びかけました。

歳末たすけあい・地域福祉募金 街頭募金参加 12月4日（水）

12月4日（水）、荒川区社会福祉協議会による歳末たすけあい・街頭募金に、本校のボランティア防災部が参加協力させていただきました。熊野前駅前で家路を急ぐ人たちが行き交うなか、社会福祉協議会や民生委員の方々といっしょに、八幡中の生徒たちが大きな声で呼びかけをしました。おかげさまで、17時からの約1時間の活動でしたが、多くの方々にご協力いただくことができました。

この「歳末たすけあい運動」で集められた募金はその全額が募金を集めた地域に配分されて使われるという、大変地域性の高い募金だそうです。こうした活動を通じて地域に貢献できればと思います。今回、参加協力してくれたボランティア防災部のみなさん、ありがとうございました。

